

第 56 回 全国ミニバスケットボール大会 出場報告書

豊浦スポーツ少年団ミニバスケットボール
アシスタントコーチ 田中智子

私たち豊浦スポーツ少年団ミニバスケットボールは 3 月 30 日 31 日に代々木体育館で開催された第 56 回全国ミニバスケットボール大会に山口県代表として出場しました。豊浦としては 12 年ぶり 7 回目の出場でした。

選手たちは初めての会場に入るやいなや会場の大きさ、雰囲気、鳥肌が立ち緊張が高まっていきました。また他チームをみては「強そう」と言葉にしながら圧倒されると同時に、大きな大会で戦うことができるんだと奮起していきました。

3 月 30 日初戦は三重県代表 富田ミニバスケットボールクラブ。
前半 10 点、3Q8 点リードしていたものの最終 Q に入りターンオーバーが続き攻撃リズムが崩れ得点に繋げることができませんでした。一方、相手のミドルシュートや 3P シュートが決まりはじめ試合終了 38 秒前で逆転を許してしまい、最後まで果敢に攻めましたがシュートが決まらず結果 45-47 で敗戦しました。

3 月 31 日 2 戦目は香川県代表 円座ミニバスケットボールスポーツ少年団。
1Q、2Q とも同点、3Q では 2 点リード。最終 Q では相手のパスワークやリバウンドに苦しみ逆転され 6 点差まで広げられてしまいました。それでも諦めず、残り 4 秒のときスティールからの 3P でファウルをもらい 3 本のフリースローを獲得。1 本目は外れましたが残り 2 本を決め同点に並びました。しかし残り 2 秒で相手に 3P を放たれブザービーターとなり結果 29-32 で敗戦しました。

同日 3 戦目は長崎県代表 古賀男子ミニバスケットボールクラブ。
スタートから高さを活かしたプレーで得点にするがパスミス、ドリブルミスなどターンオーバーが目立ち流れにのることができないまま 6 点リードされ前半は終了。後半戦、リバウンドシュートで得点に繋げるものの、相手のダブルチームにはまりターンオーバーを減らすことができず得点はなかなか縮まりませんでした。必死の守りから相手のターンオーバーを誘い徐々に点差を縮めていきましたが反撃はわずかに及ばず 39-41 で敗戦しました。

昨年 11 月の県決勝から今大会のコートに立つ前、苦境に直面し豊浦らしい試合をすることができていませんでした。それでも山口県代表で出場すること、今大会で勝ちたい気持ちを奮い立たせチームがまた気持ちをひとつに前を向きコートに立つことができました。3 戦全敗という結果にはなりましたがいいパフォーマンスをみせてくれ、これまで経験したこ

とのない気持であったことは間違いないと思います。それぞれがいろんな涙を流しましたが、今回の経験を経てきっと大きく成長してくれることと信じています。

最後に、大会関係者の方々のご尽力のお陰でトラブルもなく、無事に終えることができました。子供たちにとっても心に残る大会となりました。心より御礼申し上げます。